

## 1 列王

1:9 アドニヤは、エン・ロゲルの近くにあるゾヘレテの石のそばで、羊、牛、肥えた家畜をいけにえとして献げ、王の息子たちである自分のすべての兄弟たちと、王の家来であるユダのすべての人々を招いた。

ゾヘレテ = ◀ 2120. zocheleth (זֹחֶלֶת) 1 回 ▶ ヘビ

(その反対は) ギホン (1 : 4 5) = 湧き出る泉の意味

1:16 バテ・シェバが ひざまずいて、王に 礼をする と、王は「何の用か」と言った。

ひざまずいて = ◀ 6915. qadad 15 回 ▶ ひざまづく、おじぎする

礼をする = カダド ◀ 6915. qadad (קָדַד) 15 回 ▶ おじぎする、ひざまづく  
(NAS) bowed (KJV) bowed (INT) bowed (改 4) 礼をする

1:23 家来たちは、「預言者ナタンが参りました」と言って王に告げた。彼は王の前に出て、地に ひれ伏し、王に礼をした。

ひれ伏し・・礼をした = シャハー ◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

1:31 バテ・シェバは地に ひれ伏して 王に 礼をし、そして言った。「わが君、ダビデ王様。いつまでも生きられますように。」

ひれ伏して = カダド ◀ 6915. qadad (קָדַד) 15 回 ▶ おじぎする、ひざまづく  
(NAS) bowed (KJV) bowed (INT) bowed (改 4) ひれ伏して

礼をし = シャハー ◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、

礼をする

(NAS) prostrate herself (KJV) did reverence (INT) prostrated (改4) 礼をし

1:38 そこで、祭司ツアドク、預言者ナタン、エホヤダの子ベナヤ、それにクレタ人とペレテ人が下って行き、ソロモンをダビデ王の雌ろばに乗せ、彼を連れてギホンへ行った。

祭司ツアドク＝、困難な時に忠実だった、主は彼を高く上げた（エゼキ44：15）

エゼキエル 44:15 しかし、イスラエルの子らが迷ってわたしから離れたときも、わたしの聖所の任務を果たした、ツアドクの子孫のレビ人の祭司たちは、わたしに近づいてわたしに仕え、わたしの前に立ち、わたしに脂肪と血を献げることができる――【神】である主のことば――。

1:45 祭司ツアドクと預言者ナタンが、ギホンで彼に油を注いで王としました。こうして彼らが喜びながら、そこから上って来たので、都が騒々しくなったのです。あなたがたが聞いたあの物音がそれです。

ギホン＝◀ 1521. Gichon (גִּיחֹן) 6回▶湧き出る泉の意味

1：45「ギホン」＝湧き出る泉の意味（反）ゾヘレテ（1：9）＝蛇の意味

1:47 そのうえ、王の家来たちが来て、『神がソロモンの名をあなたの名よりもすぐれたものとし、その王座をあなたの王座よりも大いなるものとされますように』と、われらの君、ダビデ王に祝福のことばを述べました。すると、王

は寝台の上でひれ伏されました。

祝福のことばを述べ＝バラク◀ 1288. (גַּרַב)barak 330 回▶ 祝福する 316 回  
(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

ひれ伏されました＝シャハー◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▶ ひざまづく、  
礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT) \*bow (改 4 ひれ伏されました)

1:48 また、王はこう言われました。『イスラエルの神、【主】がほめたたえられるように。主は今日、私の王座に就く者を与え、私がこの目で見えるようにしてくださった。』

ほめたたえられるように＝バラク◀ 1288. (גַּרַב)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

(NAS)(KJV)(INT)Blessed (改 4)ほめたたえる

1:50 アドニヤもソロモンを恐れて立ち上がり、行って祭壇の角をつかんだ。

正しい王の名を宣言する時に敵は身震いする

1:53 それから、ソロモン王は人を遣わして、アドニヤを祭壇から降ろさせた。アドニヤが来てソロモン王に礼をすると、ソロモンは彼に言った。「家に帰りなさい。」

礼をすると＝シャハー◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) prostrated himself (KJV)bowed himself (INT) prostrated (改 4)礼をする

2:5 また、あなたはツェルヤの子ヨアブが私にしたこと、すなわち、彼がイス

ラエルの二人の軍の長、ネルの子アブネルとエテルの子アマサにしたことを知っている。ヨアブは彼らを虐殺し、平和なときに戦いの血を流し、自分の腰の帯と足のくつに戦いの血をつけたのだ。

第2サムエル 3:26 ヨアブはダビデのもとを出てから使者を遣わし、アブネルの後を追わせ、彼をシラの井戸から連れ戻させた。しかし、ダビデはそのことを知らなかった。

3:27 アブネルはヘブロンに戻った。ヨアブは彼とひそかに話そうと、彼を門の内側に連れ込み、そこで彼の下腹を刺した。こうして、アブネルは、彼がヨアブの弟アサエルの血を流したことのゆえに死んだ。

3:28 後になって、ダビデはそのことを聞いて言った。「ネルの子アブネルの血については、私も私の王国も、【主】の前にとこしえまで潔白である。

第2サムエル 20:8 彼らがギブオンにある大きな石のそばに来たとき、アマサが彼らの前にやって来た。ヨアブは自分のよろいを身に着け、さやに収めた剣を腰の上に帯で結び付けていた。彼が進み出ると、剣が落ちた。

20:9 ヨアブはアマサに「兄弟、おまえは無事か」と言って、アマサに口づけしようとして、右手でアマサのひげをつかんだ。

20:10 アマサはヨアブの手にある剣に気をつけていなかった。ヨアブは彼の下腹を突いた。それで、はらわたが地面に流れ出た。この一突きでアマサは死んだ。ヨアブとその兄弟アビシャイは、ビクリの子シェバの後を追った。

2:6 だから、あなたは自分の知恵にしたがって行動しなさい。彼の白髪頭を安らかによみに下らせてはならない。

2:15 彼は言った。「ご存じのように、王位は私のものでしたし、イスラエルは

みな私が王になるのを期待していました。それなのに、王位は転じて、私の弟のものとなりました。【主】によって彼のものとなったからです。

主を知っていながら、プライドを持っている。

2:19 バテ・シェバは、アドニヤのことを話すために、ソロモン王のところに行った。王は立ち上がって彼女を迎え、彼女に**礼をして**、自分の王座に座った。王の母のために席が設けられ、彼女は王の右に座った。

礼をして=シャハー◀ 7812. shachah (חנח) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT) \*bow (改4)礼をして

2:25 こうしてソロモン王は、エホヤダの子ベナヤを遣わしてアドニヤを**討ち取らせた**ので、彼は死んだ。

討ち取らせた=◀ 6293.(פגה) paga 46回▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす (現)ヒット

頼む(Ge23:8)。着く (Ge28:11)。現れる(Ge32:1)。打つ(出 5:3) (1列 2:34)。会う(出 5:20)(イザヤ 64:5)。(アモス 5:19)。出会う(Ex23:4)。達する(ヨシュア 16:7、17:10、19:11)。

打ちかかる(士師 8:21、15:12)。仕向ける(ルツ 1:16)。いじめる(ルツ 2:22)。

殺す(1サム 22:17)。打ちかかる(1サム 22:18)(2サム 1:15)。討ち取る(1列 2:25、2:29、2:31、2:46)。

祈り願う(ヨブ 21:15)。撃つ(ヨブ 36:32)。容赦する(イザヤ 47:3)。負わせる(イザヤ 53:6)。

とりなす(イザヤ 53:12)。(エレミヤ 7:16、15:11、27:18)。懇願する(エ

レミヤ 36:25)。

2:26 それから、王は祭司エブヤタルに言った。「アナトテの自分の地所に帰れ。おまえは死に値する者だが、今日はおまえを殺さない。おまえは私の父ダビデの前で【神】である主の箱を担ぎ、父といつも苦しみをともにしたからだ。」

2:29 ソロモン王に「ヨアブが【主】の天幕に逃げて、今、祭壇の傍らにいる」という知らせがあった。するとソロモンは、「行って彼を討ち取れ」と命じて、エホヤダの子ベナヤを遣わした。

討ち取れ = ◀ 6293.( פגע ) paga 46 回 ▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす (現)ヒット

頼む(Ge23:8)。着く (Ge28:11)。現れる(Ge32:1)。打つ(出 5:3) (1列 2:34)。会う(出 5:20)(イザヤ 64:5)。(アモス 5:19)。出会う(Ex23:4)。達する(ヨシュア 16:7、17:10、19:11)。

打ちかかる(士師 8:21、15:12)。仕向ける(ルツ 1:16)。いじめる(ルツ 2:22)。

殺す(1サム 22:17)。打ちかかる(1サム 22:18)(2サム 1:15)。討ち取る(1列 2:25、2:29、2:31、2:46)。

祈り願う(ヨブ 21:15)。撃つ(ヨブ 36:32)。容赦する(イザヤ 47:3)。負わせる(イザヤ 53:6)。

とりなす(イザヤ 53:12)。(エレミヤ 7:16、15:11、27:18)。懇願する(エレミヤ 36:25)。

2:31 王は彼に言った。「彼が言ったとおりにせよ。彼を討ち取って葬れ。こうして、ヨアブが理由もなく流した血の責任を、私と、私の父の家から取り除け。

討ち取れ＝◀ 6293.(פגע) paga 46 回▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす (現)ヒット

2:32 【主】は、彼が流した血を彼の頭に注ぎ返される。彼は自分よりも正しく善良な二人の者に討ちかかり、剣で虐殺したからだ。彼は私の父ダビデが知らないうちに、イスラエルの軍の長である、ネルの子アブネルと、ユダの軍の長である、エテルの子アマサを虐殺したのだ。

討ちかかり＝◀ 6293.(פגע) paga 46 回▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす (現)ヒット

2:34 エホヤダの子ベナヤは上って行き、彼を打つて殺した。ヨアブは荒野にある自分の家に葬られた。

打つて＝◀ 6293.(פגע) paga 46 回▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす (現)ヒット

頼む(Ge23:8)。着く (Ge28:11)。現れる(Ge32:1)。打つ(出 5:3) (1 列 2:34)。会う(出 5:20)(イザヤ 64:5)。(アモス 5:19)。出会う(Ex23:4)。達する(ヨシュア 16:7、17:10、19:11)。

打ちかかる(士師 8:21、15:12)。仕向ける(ルツ 1:16)。いじめる(ルツ 2:22)。

殺す(1 サム 22:17)。打ちかかる(1 サム 22:18) (2 サム 1:15)。討ち取る (1 列 2:25、2:29、2:31、2:46)。

祈り願う(ヨブ 21:15)。撃つ(ヨブ 36:32)。容赦する(イザヤ 47:3)。負わせる(イザヤ 53:6)。

とりなす(イザヤ 53:12)。(エレミヤ 7:16、15:11、27:18)。懇願する(エレミヤ 36:25)。

殺した=◀ 4191. muth 839 回▶死ぬ、殺す

I 列王 2:45 しかし、ソロモン王は**祝福され**、ダビデの王座は【主】の前で  
とこしえまでも堅く立つ。」

祝福する=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74  
回ほめる(改 4)。

2:46 王はエホヤダの子ベナヤに命じた。ベナヤは出て行ってシムイを**討ち取**  
**り**、シムイは死んだ。こうして、王国はソロモンによって確立した。

討ち取り=◀ 6293.(פגע) paga 46 回▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、  
仕向ける、とりなす (現)ヒット

3:4 王はいけにえを献げようと**ギブオン**へ行った。そこが最も重要な高き所だ  
ったからである。ソロモンはその祭壇の上で千匹の全焼のささげ物を献げた。

@ギブオン

2 歴代 1:3 ソロモンおよび彼とともにいた全会衆は、ギブオン  
にある高き所に行った。そこに、【主】のしもべモーセが荒野で  
造った神の会見の天幕があったからである。

3:5 ギブオンで【主】は夜の夢のうちにソロモンに現れた。神は仰せられた。  
「あなたに何を与えようか。願え。」

初めての主との出会い。 (2 度目 9 : 2 宮が完成した時)

3:11 神は彼に仰せられた。「あなたがこのことを願い、自分のために長寿を願  
わず、自分のために富を願わず、あなたの敵のいのちさえ願わず、むしろ、自  
分のために正しい訴えを聞き分ける判断力を願ったので、

3:12 見よ、わたしはあなたが言ったとおりにする。見よ。わたしはあなたに、知恵と判断の心を与える。あなたより前に、あなたのような者はなく、あなたの後に、あなたのような者は起こらない。

3:13 そのうえ、あなたが願わなかったもの、富と誉れもあなたに与える。あなたが生きているかぎり、王たちの中であなたに並ぶ者は一人もない。

3:14 また、あなたの父ダビデが歩んだように、あなたもわたしの掟と命令を守ってわたしの道に歩むなら、あなたの日々を長くしよう。」

3:15 ソロモンが目を覚ますと、見よ、それは夢であった。彼はエルサレムに行き、主の契約の箱の前に立って、全焼のささげ物を献げ、交わりのいけにえを献げ、すべての家来たちのために祝宴を開いた。

4:29 神は、ソロモンに非常に豊かな知恵と英知と、海辺の砂浜のように広い心を与えられた。

5:7 ヒラムはソロモンの申し出を聞いて、大いに喜んで言った。「今日、【主】がほめたたえられますように。主は、この大いなる民を治める、知恵のある子をダビデにお与えになった。」

ほめたたえる＝バラク◀ 1288. (ㄱㄱ)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

(NAS)(KJV)(INT)Blessed (改 4)ほめたたえる

8:8 その担ぎ棒は長かったので、棒の先が内殿の前の聖所からは見えていたが、外からは見えなかった。それは今日までそこにある。

@この書が書かれた時点ではまだ捕囚はされていない。

8:11 祭司たちは、その雲のために、立って仕えることができなかった。【主】の栄光が【主】の宮に満ちたからである。

I 列王 8:14 それから王は振り向いて、イスラエルの全会衆を**祝福した**。イスラエルの全会衆は起立していた。

祝福する=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

8:15 彼は言った。「イスラエルの神、【主】が**ほめたたえられますように**。主は御口をもって私の父ダビデに語り、御手をもってこれを成し遂げて、こう言われた。

ほめたたえる=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

(NAS)(KJV)(INT)Blessed (改 4)ほめたたえる

8 : 1 5 「ダビデ」、(8 : 1 5 - 2 6)の間に9回「ダビデ」の名が出てくる、  
我々が主に受け入れられるのはその業績に拠るものではない  
(8 : 1 5, 1 6, 1 7, 1 8, 2 0, 2 4, 2 5, 2 6,)

8:26 今、イスラエルの神よ。どうかあなたのしもべ、私の父ダビデに約束されたおことばが**堅く立てられますように**。

堅く立てられ=◀ 539. aman 108 回▶ 信じる、確かにする、(ヘブライ語で信じるを意味する一般的な言葉)

確かな(1サム 2:35)(詩 89:28)、堅く建てる(1サム 3:20)(2サム 7:16)(1王 8:26)

ほんとうだということがわかる(Ge42:20)

忠実な(民 12:7)、長く続く(申 28:59)、

養い育てる(ルツ 4:16)、養育する(エステル 2:7)

乳母(nurse)の語源(2サム 4:4)、わきに抱かれて(イザヤ 60:4)

おぼつく(申 28:66)、当てにする(エレ 15:18)

8:27 それにしても、神は、はたして地の上に住まわれるでしょうか。実に、天も、天の天も、あなたをお入れすることはできません。まして私が建てたこの宮など、なおさらのことです。

@主の命令によって建てたにもかかわらずそれがふさわしくない事を知っていた=謙遜

8:28 あなたのしもべの祈りと願いに御顔を向けてください。私の神、【主】よ。あなたのしもべが、今日、御前にささげる叫びと祈りを聞いてください。

祈り = ◀ 8605. tephillah (תְּפִלָּה) 77 回 ▶ (N) 祈り

願い = ◀ 8467. techinnah (תְּחִינָה) 25 回 ▶ (N) 好意、好意を求めること

叫び = ◀ 7440. Rinnah (רִנָּה) 33 回 ▶ (N) 叫び、(喜びの叫び、歌、喜びの歌)

祈り = ◀ 8605. tephillah (תְּפִלָּה) 77 回 ▶ (N) 祈り

◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなし  
する、祈る、

palal 相応する訳出部分はないが Rinnah と tephillah をパラルするというニュアンス

8:29 そして、この宮、すなわち『わたしの名をそこに置く』とあなたが言われたこの場所に、夜も昼も御目を開き、あなたのしもべがこの場所に向かってささげる祈りを聞いてください。

私の名 Shemi(שְׁמִי) 置く sam(שָׂם) 聞くために lismoa(לִשְׁמֹא) (シャマー)

◀ 8034. shem (שֵׁם) 864 回 ▶

◀ 8033. Sham(שָׁם) 833 回 ▶ (A) ある there

◀ 8085. shama (שָׁמַע) 1160 回 ▶ (V) 聞く

@名をそこに置く」＝、キリストの祈りに似ている

(ヨハネ 17:11 わたしはもう世にいらなくなります。彼らは世にありますが、わたしはあなたのみもとにまいます。聖なる父。あなたがわたしに下さっているあなたの御名の中に、彼らを保ってください。それはわたしたちと同様に、彼らが一つとなるためです。

@「イエス」の意味＝ヤーウエは救い

祈る＝◀ 6419. palal (לָלַץ) 84 回▶(V)干渉する、とりなしする、祈る

8:30 あなたのしもべとあなたの民イスラエルが、この場所に向かって **ささげ**  
**る** 願いを聞いてください。あなたご自身が、あなたの御住まいの場所、天においてこれを聞いてください。聞いて、お赦してください。

ささげる＝◀ 6419. palal (לָלַץ) 84 回▶(V)干渉する、とりなしする、祈る

8:33 あなたの民イスラエルが、あなたの前に罪ある者となって敵に打ち負かされたとき、彼らがあなたに立ち返り、御名を **ほめたたえ**、この宮であなたに **祈り** 願うなら、

ほめたたえ＝ホードゥ＝ヤダ◀ 3034. yadah(יָדָה) 114 回▶感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回 ★

ただし(NAS)(KJV)では「告白するなら」 confess になっている。

祈り＝◀ 6419. palal (לָלַץ) 84 回▶(V)干渉する、とりなしする、祈る

8:35 彼らがあなたの前に罪ある者となって、天が閉ざされ雨が降らなくなったとき、彼らがこの場所に向かって **祈り**、御名を **ほめたたえ**、あなたが苦し

ませたことによって彼らがその罪から立ち返るなら、

祈る = ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

ほめたたえ = ホウドウ ▶ 3034. yadah (יָדָה) 114 回 ▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回

(NAS) (KJV) confess ★★

8:38 だれでもあなたの民イスラエルが、それぞれ自分の心の痛みを知って、この宮に向かって両手を伸べ広げて祈るなら、どのような祈り、どのような願いであっても、

(改 4) のほうが正確 両手を伸べ広げて = (改 2) 両手を差し伸べて

伸べ広げる = ◀ 6566. paras ▶ Definition: to spread out, spread

8:42 彼らが、あなたの大きいなる御名と力強い御手と伸ばされた御腕について聞き、やって来てこの宮に向かって 祈る なら、

8 : 4 6 罪を犯さない人間は一人もいないのですから——

祈る = ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

8:44 あなたの民が敵との戦いのために出て行くとき、遣わされる道で、あなたがお選びになった都、私が御名のために建てた宮に向かって【主】に祈るなら、

祈る = ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

8:48 捕らわれて行った敵国で、心のすべて、たましいのすべてをもって、あなたに立ち返り、あなたが彼らの先祖にお与えになった彼らの地、あなたがお

選びになったこの都、私が御名のために建てたこの宮に向かって、あなたに祈るなら、

祈る = ◀ 6419. palal (לָלַץ) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

8:54 こうしてソロモンは、この祈りと願いをことごとく【主】にささげ終えた。彼は、それまでひざまずいて、天に向かって両手を伸べ広げていた【主】の祭壇の前から立ち上がり、

祈る = ◀ 6419. palal (לָלַץ) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

ひざまずいて = カラ◀ 3766.( כָּרַע ) kara 36 回 ▶ ひざまづく (現へ) ひざまづく

(NAS)(KJV)(INT) kneeling on his knees (改 4)ひざまずいて

8:55 まっすぐに立って、イスラエルの全会衆を大声で祝福して言った。

8:56 「【主】がほめたたえられますように。主は約束どおり、ご自分の民イスラエルに安住の地を与えてくださいました。しもべモーセを通してお告げになった良い約束はみな、一つも、地に落ちることはありませんでした。

ほめたたえる = バラク◀ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回 ▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

(NAS)(KJV)(INT)Blessed (改 4)ほめたたえる

8:66 八日目に王は民を帰らせた。民は王に祝福のことばを述べ、【主】がそのしもべダビデと、その民イスラエルに下さったすべての恵みを喜び、心満たされて、彼らの天幕に帰って行った。

祝福する = バラク◀ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回 ▶ 祝福する 316 回(英)の内 74

## 回ほめる(改 4)

9:2 【主】は、かつてギブオンで現れたときのように、ソロモンに再び現れた。

@ 2度目の主との出逢い（1度目は王になった時3：5ギブオンにて）

9:3 【主】は彼に言われた。「あなたがわたしの前で願った祈りと願いをわたしは聞いた。わたしは、あなたがわたしの名をとこしえに置くために建てたこの宮を聖別した。わたしの目と心は、いつもそこにある。

9:4 もしあなたが、あなたの父ダビデが歩んだように、全き心と正直さをもってわたしの前に歩み、わたしがあなたに命じたことすべてをそのまま実行し、わたしの掟と定めを守るなら、

。

9:6 もし、あなたがたとあなたがたの子孫が、わたしに背を向けて離れ、あなたがたの前に置いたわたしの命令とわたしの掟を守らずに、行ってほかの神々に仕え、それを拝むなら、

拝むなら＝シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)\* worship (改 4)拝むなら

9:9 人々は、『彼らは、エジプトの地から自分たちの先祖を導き出した彼らの神、【主】を捨ててほかの神々に頼り、それを拝み、それに仕えた。そのため【主】はこのすべてのわざわいを彼らに下されたのだ』と言う。」

拝み＝シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、

礼をする

(NAS) (KJV) (INT)\* worship (改 4) 拝み

9:19 ソロモンの所有するすべての倉庫の町々、戦車のための町々、騎兵のための町々、またソロモンがエルサレム、レバノン、および彼の全領地に建てたいと切に願っていたものを建てた。

切に願っていた = ◀2836. Chashaq(חָשַׁק)(ハシヤク) 11 回▶ 恋い慕う (Ge34:8)

つなぎ、かぶせる (出 38:17) 幕屋の柱頭のかぶせもの

愛する (詩 928361:14) 「彼がわたしを愛しているからわたしは彼を助け出す。」

10:1 ときに、シェバの女王は、【主】の御名によるソロモンの名声を聞き、難問をもって彼を試そうとしてやって来た。

10:7 私は自分で来て、自分の目で見るとまでは、そのことを信じなかったのですが、なんと、私にはその半分も知らされていなかったのです。あなたの知恵と繁栄は、私が聞いていたうわさより、はるかにまさっています。

10:9 あなたの神、【主】が ほめたたえられますように。主はあなたを喜び、イスラエルの王座にあなたを就かせられました。【主】はイスラエルをとこしえに愛しておられるので、あなたを王とし、公正と正義を行わせるのです。」

ほめたたえられますように = バラク ◀ 1288. (בָּרַךְ) barak 330 回▶ 祝福する 316 回 (英) の内 74 回 ほめる (改 4)。

(NAS)(KJV)(INT) Blessed (改 4) ほめたたえる

10:12 王はこの白檀の木材で、【主】の宮と王宮のための柱を作り、歌い手たちのための堅琴と 琴 を作った。今日まで、このような白檀の木材が入って来

たことはなく、見られたこともなかった。

琴＝ ◀ 5035. nebel (נֶבֶל) 38 回 ▶ 皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、  
琴、壺

10:18 王は大きな象牙の王座を作り、これに純粋な金をかぶせた。

10:19 王座には六つの段があり、その王座の背の上部は丸かった。座席の両側に肘掛けがあり、その肘掛けのわきには二頭の雄獅子が立っていた。

@ 10 : 18 — 19 象牙の王座、高慢

申命記 17:17 また王は、自分のために多くの妻を持って、心がそれることがあってはならない。自分のために銀や金を過剰に持ってはならない。

@ 10 章～ 11 章の間にはしてはならないといわれていた 3 つのことをしてしまった。

(1) 金銀を増やす (2) 馬を増やす。(3) 妻を増やす。

これらの問題の原因は、彼は頭脳明晰で知恵があつたがゆえ聖書を読まなかつた。彼は多分聖書の言葉を全部暗記していたかもしれない。けれどもそれと読まなくてもいいかどうかは別の問題である。

(申命記 17:19 自分の手もとに置き、一生の間これを読まなければならない。それは、王が自分の神、【主】を恐れ、このみおしえのすべてのことばと、これらの掟を守り行うことを学ぶためである。

10:29 戦車はエジプトから銀六百、馬は銀百五十で買い上げられて、輸入された。同様に、ヒッタイト人のすべての王やアラムの王たちにも、王の商人たちの仲買で輸出された。

申命記 17:16 ただし王は、決して自分のために馬を増やしてはならない。馬

を増やすために民をエジプトに戻らせてはならない。【主】は「二度とこの道に戻ってはならない」とあなたがたに言われた。

11:1 ソロモン王は、ファラオの娘のほかに多くの異国人の女、すなわちモアブ人の女、アンモン人の女、エドム人の女、シドン人の女、ヒッタイト人の女を愛した。

申命記 17:17 また王は、自分のために多くの妻を持って、心がそれることがあってはならない。自分のために銀や金を過剰に持ってはならない。

11:8 彼は異国人であるすべての妻のためにも同じようにしたので、彼女たちは自分の神々に香をたき、いけにえを献げた。

。

11:19 ハダドはファラオにことのほか気に入られ、ファラオは自分の妻の妹、王妃タフペネスの妹を彼に妻として与えた。

王妃 = ◀ 1377. gebirah (גְּבִירָה) 6 回 ▶ lady, queen 翻訳は (改 2) 王妃、(KJV) はどの箇所も常に queen

通常王妃及び女王は ◀ 4436. Malkah (מַלְכָּה) 35 回 ▶

11:23 神はまた、ソロモンに敵対する者として、エリヤダの子レズンを起こされた。彼は、自分の主人、ツォバの王ハダドエゼルのもともとから逃亡した者であった。

11:27 彼が王に反逆するようになった事情はこうである。ソロモンはミロを建て、彼の父ダビデの町の破れ口をふさいでいた。

11:28 ヤロブアムは **手腕家** であった。ソロモンはこの若者の働きぶりを見て、ヨセフの家のすべての役務を管理させた。

@ヤロブアムはイスラエルでも数少ない主によって召された王  
ヤロブアムは手腕家だった

手腕家=ギボール 1368. Gibbor(גִּבּוֹר)でありハイール 2428. Chayil(חַיִל)であった。

「◀ 1368. Gibbor(גִּבּוֹר) 159 回▶(A)力強い、強い。(N)勇士(Ge6:4)であり「◀ 2428. Chayil(חַיִל) 224 回▶財産、能力、軍勢、勇気)」であった

=彼の勤勉の動機は王になりたかった。

第2列王記 11:37 わたしがあなたを召したなら、あなたは自分の望むとおりに王となり、イスラエルを治める王とならなければならない。

11:31 ヤロブアムに言った。「十切れを取りなさい。イスラエルの神、【主】はこう言われる。『見よ。わたしはソロモンの手から王国を引き裂き、十部族をあなたに与える。』

@ヤロブアムの召しの預言

@預言は召しを与えるが任命するものではない。

11:32 ただし、ソロモンには一つの部族だけ残る。それは、わたしのしもベダビデと、わたしがイスラエルの全部族の中から選んだ都、エルサレムに免じてのことである。

11:33 というのは、人々がわたしを捨て、シドン人の女神アシュタロテや、モアブの神ケモシュヤ、アンモン人の神ミルコムを拝み、父ダビデのように、わたしの目にかなうことを行わず、わたしの掟と定めを守らず、わたしの道に

歩まなかったからである。

拝み=シャハー◀ 7812. shachah (נשח) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、  
礼をする

(NAS) (KJV) (INT)\* worship (改4)拝み

11:37 わたしがあなたを召したなら、あなたは自分の望むとおりに王となり、  
イスラエルを治める王とならなければならない。

@主が召していないのに、時期を誤ったら (1列 12:20) 悪い結果になる

自分の望むとおりに=彼は王になりたがっていた

11:40 ソロモンはヤロブアムを殺そうとしたが、ヤロブアムは立ち去ってエジ  
プトに逃れ、エジプトの王シシャクのもとに行き、ソロモンが死ぬまでエジプ  
トにいた。

ソロモンはヤロブアムを殺そうとした=

なぜ? 彼の態度が変わったか言いふらしたので

ダビデは召しを受けた後も忠実に仕えた

第1サムエル 16:19 サウルは使いをエッサイのところへ送って、  
「羊とともにいるあなたの息子ダビデを、私のところによこさない」と言った。

12:1 レハブアム (ユダ1)

12:6 レハブアム王は、父ソロモンが生きている間ソロモンに仕えていた長老  
たちに、「この民にどう返答したらよいと思うか」と相談した。

12:8 しかし、王はこの長老たちが与えた助言を退け、自分とともに育ち、自分に仕えている若者たちにこう相談した。

12 : 20 ヤロブアム (イスラエル1)

12:20 全イスラエルは、ヤロブアムが戻って来たことを聞いたので、人を遣わして彼を会衆のところに招き、彼を全イスラエルの王とした。ユダの部族以外には、ダビデの家に従う者はいなかった。

ヤロブアムが戻って来たことを聞いたので=not 「主の時」

12:24 『【主】はこう言われる。上って行ってはならない。あなたがたの兄弟であるイスラエルの人々と戦ってはならない。それぞれ自分の家に帰れ。わたしが、こうなるように仕向けたのだから。』そこで、彼らは【主】のことばに聞き従い、【主】のことばのとおりに戻って行った。

12:26 ヤロブアムは心に思った。「今のままなら、この王国はダビデの家に帰るだろう。

今のままなら==恐れはわれわれを偶像礼拝へと導く主が我々を召したのなら誰もそれを奪えない

12:28 そこで王は相談して金の子牛を二つ造り、彼らに言った。「もうエルサレムに上る必要はない。イスラエルよ。ここに、あなたをエジプトから連れ上った、あなたの神々がおられる。」

相談して= 誰と？

13:1 一人の神の人が、【主】の命令によってユダからベテルにやって来た。ちょうどそのとき、ヤロブアムは香をたくために祭壇のそばに立っていた。

@ひとりの神の人=名も知れない(若い) 預言者

13:6 そこで、王はこの神の人に向かって言った。「どうか、あなたの神、【主】にお願いして、私のために祈ってください。そうすれば、私の手は元に戻るでしょう。」神の人が【主】に願ったので、王の手は元に戻り、前と同じようになった。

@ どうか・・・お願いして・・・下さい＝

◀ 2470. chalah (חָלָה) 76 回 ▶ + ◀ 4994. na (נָא) 403 回 ▶ +  
◀ 6440. panim (פָּנִים) 2128 回 ▶

どうか＝◀ 2470. chalah (חָלָה) 76 回 ▶(V) 弱くする、病気である、嘆願する

出 32:11 しかしモーセは、自分の神、【主】に嘆願して言った。

「【主】よ。あなたが偉大な力と力強い御手をもって、エジプトの地から導き出されたご自分の民に向かって、どうして御怒りを燃やされるのですか。

創 48:1 これらのことの後、ヨセフに「お父上が、御病気です」と告げる者があったので、彼は二人の息子、マナセとエフライムを連れて行った。

士 16:7 サムソンは言った。「もし、まだ干していない七本の新しい弓の弦で私を縛るなら、私は弱くなり、並みの人のようになるだろう。」

(好意：訳出されていない) = ◀ 6440. panim (פָּנִים) 2128 回 ▶ 顔

してください = ◀ 4994. na (נָא) 403 回 ▶ (間投詞、感嘆詞) 見よ、Please(お願いします)

創 12:11 彼がエジプトに近づいて、その地に入って行こうとしたとき、妻のサライに言った。「聞いてほしい。私には、あなたが見目麗しい女だということがよく分かっている。

@ 聞いてほしい = ◀ 2009. hinneh (הִנֵּה) 841 回 ▶ + ◀ 4994. na (נָא) 403 回 ▶

創 12:13 私の妹だと言って ほしい。そうすれば、あなたのゆえに事がうまく運び、あなたのおかげで私は生き延びられるだろう。」

祈って = ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

@主にお願いして」 == しかし罪を犯しつづけた

13:9 というのは、【主】のことばによって、『パンを食べてはならない。水も飲んではならない。また、もと来た道を通して帰ってはならない』と命じられているからです。」

13:21 彼は、ユダから来た神の人に呼びかけて言った。「【主】はこう言われる。『あなたは【主】のことばに背き、あなたの神、【主】が命じた命令を守らず、

13:33 このことがあった後も、ヤロブアムは悪い道から立ち返ることをせず、引き続き一般の民の中から高き所の祭司たちを任命し、だれでも志願する者を任職して高き所の祭司にした。

14:14 【主】はご自分のためにイスラエルの上に一人の王を起こされます。彼はその日、いや、今にもヤロブアムの家を絶ち滅ぼします。

一人の王=バシヤ (15 : 28)

14 : 20 ナダブ (イスラエル2)

14:30 レハブアムとヤロブアムの間には、いつも戦いがあった。

15 : 1 アビヤム (ユダ2)

15:5 それは、ダビデが【主】の目にかなうことを行い、ヒッタイト人ウリヤのことのほかは、一生の間、主が命じられたすべてのことからそれなかつたからである。

15 : 9 アサ (ユダ3)

15:13 また、母マアカがアシェラのために憎むべき像を造つたので、彼女を皇太后の位から退けた。アサはその憎むべき像を切り倒し、これをキデロン

の谷で焼いた。  
皇太后 = ◀ 1377. gebirah 6回 ▶ lady, queen 翻訳は (改2)王母、(KJV)  
はどの箇所も常に queen

通常王妃及び女王は ◀ 4436. malkah ▶

15:14 高き所は取り除かれなかつたが、アサの心は生涯、【主】とともにあり、全きものであつた。

第2列王記 12:3 ただし、高き所は取り除かれなかつた。民はなおも、

その高き所でいけにえを献げたり、犠牲を供えたりしていた。

b y ヨアシュ (ユダ 8 代目) 第 2 列王記 1 2 : 3

第 1 列王記 22:43 彼はその父アサのすべての道に歩み、そこから外れることなく、【主】の目にかなうことを行った。しかし、高き所は取り除かなかった。民はなおも、その高き所でいけにえを献げたり、犠牲を供えたりしていた。

b y ヨシャパテ (ユダ 4 代目) 第 1 列王記 2 2 : 4 3

1 5 : 1 9 - 主ではなく金銀に頼った

1 5 : 2 4 ヨシャファテ (ユダ 4)

1 5 : 2 8 バシヤ (イスラエル 3)

1 6 : 6 エラ (イスラエル 4)

1 6 : 1 0 ジムリ (イスラエル 5)

1 6 : 2 3 オムリ (イスラエル 6)

1 6 : 2 5 彼以前の誰よりも悪い事をした」

1 6 : 2 9 アハブ (イスラエル 7) 彼以前の誰よりも悪い事をした」、  
預言者を次々と殺した

最悪の時代にエリアが登場

16:30 オムリの子アハブは、彼以前のだれよりも【主】の目に悪であることを行った。

16:31 彼にとっては、ネバテの子ヤロブアムの罪のうちを歩むことは軽いことであつた。それどころか彼は、シドン人の王エテバルの娘イゼベルを妻とし、行ってバルに仕え、それを**拝んだ**。

拝んだ=シャハー◀ 7812. shachah (חנח) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、

礼をする

(NAS) (KJV) (INT)\* worship (改4) 拝んだ

16:34 彼の時代に、ベテル人ヒエルがエリコを再建した。彼は、その礎を据えたとき長子アビラムを失い、門を建てたとき末の子セグブを失った。ヌンの子ヨシュアを通して語られた【主】のことばのとおりであった。

17:1 ギルアデの住民であるティシュベ人エリヤはアハブに言った。「私が仕えているイスラエルの神、【主】は生きておられる。私のことばによるのであれば、ここ数年の間、露も降りず、雨も降らない。」

「私の仕えている」=立っている=◀ 5975. Amad(אָמַד) 525 回▶ (V)立つ

《NKJ》As the Lord God of Israel lives, before whom I stand,

私の立っているところのイスラエルの神

@「仕えている」ということばは無い。

生きておられる=◀ 2416. Chay(חַי) 503 回▶ (A)(N) 生きている

エリアの特徴

1、死を味わっていない

2、モーセと共に新約に登場している(マ

タイ17: )

3、マラキに記述されている

17:3 「ここを去って東へ向かい、ヨルダン川の東にあるケリテ川のほとりに身を隠せ。

ケリテ=◀ 3747. Kerith (כְּרִית) 2 回▶ ケリテ (エリヤが隠れた川)

元のことば◀ 3772. Karath(כָּרַת) (289 回)▶ 切る、断ち切る (契約を)

結ぶ

創 15:18 その日、【主】はアブラムと契約を結んで言われた。  
「あなたの子孫に、わたしはこの地を与える。エジプトの川から、あの大河ユーフラテス川まで。」

17:9 「さあ、シドンのツアレファテに行き、そこに住め。見よ。わたしはこの一人のやもめに命じて、あなたを養うようにしている。」

◀ 6886. Tsarephath (צֶרֶפֶת) 3 回 ▶ (意味 BLB)製油所(refinery)

住め = ◀ 7931. shakan (שָׁקַן) 128 回 ▶ (V) 住む 通常は神が住むという意味で  
かわれる言葉

17:13 エリヤは彼女に言った。「恐れてはいけません。行って、あなたが言ったようにしなさい。しかし、まず私のためにそれで小さなパン菓子を作り、私のところに持って来なさい。その後で、あなたとあなたの子どものために作りなさい。」

@ 「まず」 = 信仰のステップ、優先順位

17:16 エリヤを通して言われた【主】のことばのとおり、かめの粉は尽きず、壺の油はなくならなかった。

17:18 彼女はエリヤに言った。「神の人よ、あなたはいったい私に何をしようとされるのですか。あなたは私の咎を思い起こさせ、私の息子を死なせるために来られたのですか。」

@ 「私の咎を思い起こさせ」(あなたには悪意がある) = 苦い根が出てきている

17:22 【主】はエリヤの願いを聞かれたので、子どものいのちがその子のうちに  
に戻り、その子は生き返った。

その子は生き返った＝人類初の蘇り

18:6 二人はこの国を分けて巡り歩くことにし、アハブは一人で一つの道を行  
き、**オバデヤ**は一人で別の道を行った。

オバデヤ＝立派な人であったが生ぬるかった

18:17 アハブがエリヤを見るやいなや、アハブは彼に言った。「おまえか、イ  
スラエルにわざわざをもたらす者は。」

イスラエルにわざわざをもたらす者は＝問題が起こるとクリスチャンのせい  
にする

18:18 エリヤは言った。「私はイスラエルにわざわざをもたらしてはいない。  
あなたとあなたの父の家こそ、そうだ。現に、あなたがたは【主】の命令を捨て、  
あなたはバアルの神々に従っている。

18:22 そこで、エリヤは民に向かって言った。「私一人が【主】の預言者とし  
て残っている。バアルの預言者は四百五十人だ。

私一人が ＝ エリアの思い込み、(これによってすべての働きを自分ひと  
りでこなした為に、疲れが出た

第1列王記 19:14 エリヤは答えた。「私は万軍の神、【主】に熱心に  
仕えました。しかし、イスラエルの子らはあなたとの契約を捨て、あ  
なたの祭壇を壊し、あなたの預言者たちを剣で殺しました。ただ私だ

けが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうと狙っています。」

18:30 エリヤが民全体に「私のそばに近寄りなさい」と言ったので、民はみな彼に近寄って来た。彼は、壊れていた【主】の祭壇を築き直した。

【主】の祭壇を築き直した。 いけにえ=賛美（ヘブ13：15）

① リバイバルは賛美の回復から

18:31 エリヤは、【主】がかつて「あなたの名はイスラエルとなる」と言われたヤコブの子たちの部族の数にしたがって、十二の石を取った。

②十二の石を取った = 教会の一致

18:34 「四つのかめに水を満たし、この全焼のささげ物と薪の上に注げ」と命じた。それから「もう一度それをせよ」と言ったので、彼らはもう一度そうした。さらに、彼が「三度目をせよ」と言ったので、彼らは三度目をした。

③薪の上に注げ = 理性とは逆の事

18:36 ささげ物を献げるころになると、預言者エリヤは進み出て言った。「アブラハム、イサク、イスラエルの神、【主】よ。あなたがイスラエルにおいて神であり、私があなただのしもべであり、あなたのおことばによって私がこれらすべてのことを行ったということが、今日、明らかになりますように。

④あなたのおことばによって= 神の方法による

18:38 すると、【主】の火が降り、全焼のささげ物と薪と石と土を焼き尽くし、溝の水もなめ尽くした。

18:40 そこでエリヤは彼らに命じた。「バアルの預言者たちを捕らえよ。一人も逃すな。」彼らがバアルの預言者たちを捕らえると、エリヤは彼らをキシヨン川に連れて下り、そこで彼らを殺した。

バアルの預言者＝人身御供の実行者

18:42 そこで、アハブは食べたり飲んだりするために上って行った。エリヤはカルメル山の頂上に登り、地にひざまずいて自分の顔を膝の間にうずめた。

ひざまずいて＝◀ 1457. Gahar (גָּהָר) 3回▶ひざまづく(第1列王 18:42)、身をかがめる(第2列王 4:35)、身を伏せる(第2列王 4:34)

@この単語は3回登場するがそれらはいつも大きなとりなし。

第2列王 4:34 それから、寝台の上に上がり、その子の上に身を伏せ、自分の口をその子の口の上に、自分の目をその子の目の上に、自分の両手をその子の両手の上に重ねて、その子の上に身をかがめた。すると、その子のからだが温かくなってきた。

第2列王 4:35 それからエリヤは降りて、部屋の中をあちらこちらと歩き回り、また寝台の上に上がり、子どもの上に身をかがめると、子どもは七回くしゃみをして目を開けた。

18:44 七回目に若い者は、「ご覧ください。人の手のひらほどの小さな濃い雲が海から上っています」と言った。エリヤは言った。「上って行って、アハブに言いなさい。『大雨に閉じ込められないうちに、車を整えて下って行きなさい。』」

人の手のひらほどの小さな濃い雲 = 小さなしるしであったが、エリアには

それで十分であった。

。

19:3 彼はそれを知って立ち、自分のいのちを救うため立ち去った。ユダのベエル・シェバに来たとき、若い者をそこに残し、

それを知って=◀ 7200. raah 1306 回▶ 見る

@(改 2)彼は恐れて (KJV)And when he saw that,

ベエル・シェバ=◀ 884. Beer Sheba (שְׁבַע) (בְּאֵר) 34 回▶

(意味) = "well of the sevenfold oath" 七つの誓いの井戸の意味  
= 泉、豊か、溢れるの象徴

シェバという言葉には7という意味と誓うという意味が含まれている。

創世記 21:31 それゆえ、その場所はベエル・シェバと呼ばれた。彼ら二人がそこで誓ったからである。

誓った=◀ 7650. Shaba(שְׁבַע)() 187 回▶ 誓う

この言葉の語源は「7」を意味する◀ 7651. sheba or shibah (שְׁבַע)(シェバ) 394 回▶

若い者をそこに残し=孤立

@=疲労の極限であったにもかかわらず、彼は立ち上がらねばならなかった。

(さらなる重荷)

@エリア症候群の兆候

1) 18:22 「私ひとりが」という思い

2) ムーブメントではなくイベント的な考え (有名な説教者が来れば日本は変わるという考え)

3) 休息がない (18 : 31-) 祭壇を築く、戦い、川にくだる、殺す、また山に登る (これらを一人でした)

4) 疲れによる恐れ (19:3)

19:4 自分は荒野に、一日の道のりを入れて行った。彼は、エニシダの木の陰に座り、自分の死を願って言った。「【主】よ、もう十分です。私のいのちを取ってください。私は父祖たちにまさっていませんから。」

19:7 【主】の使いがもう一度戻って来て彼に触れ、「起きて食べなさい。旅の道のりはまだ長いのだから」と言った。

旅の道のりはまだ長いのだから＝この言葉は未来があることを示唆している。  
@落ち込んだ人は先が無いとってしまう。

19:8 彼は起きて食べ、そして飲んだ。そしてこの食べ物に力を得て、四十日四十夜歩いて、神の山ホレブに着いた。

ホレブ = ◀ 2722. Choreb(חֹרֵב) 17回 ▶ (シナイにある山の名) (意味)  
砂漠

@人間的な考え飾りを取り除くところ

飾りを捨てた

出 33:6 それでイスラエルの子らは、ホレブの山以後、自分の飾り物を外した。

エジプトの榮譽を捨てた

出 3:1 モーセは、ミディアンの祭司、しゅうとイテロの羊を飼っていた。彼はその群れを荒野の奥まで導いて、神の山ホレブにやって来た。

国を出た時はモーセの外観はエジプト人のようであった。

出 2:19 娘たちは答えた。「一人のエジプト人が、私たちを羊飼いたちの手から助けてくれました。そのうえ、その人は私たちのために水汲みまでして、羊の群れに飲ませてくれました。」

19:9 彼はそこにある洞穴に入り、そこで一夜を過ごした。すると、【主】のこ  
とばが彼にあった。主は「エリヤよ、ここで何をしているのか」と言われた。

神は泉(ベエル・シェバ)ではなく、砂漠(ホレブ)で語られる。

19:10 エリヤは答えた。「私は万軍の神、【主】に熱心に仕えました。しかし、イスラエルの子らはあなたとの契約を捨て、あなたの祭壇を壊し、あなたの預言者たちを剣で殺しました。ただ私だけが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうと狙っています。」

19:11 主は言われた。「外に出て、山の上で【主】の前に立て。」するとそのとき、【主】が通り過ぎた。【主】の前で激しい大風が山々を裂き、岩々を砕いた。しかし、風の中に【主】はおられなかった。風の後には地震が起こったが、地震の中にも【主】はおられなかった。

地震の中にも【主】はおられなかった＝

(申4：15) 主がホレブで火の中からあなたがたに話しかけられた日に、

あなたがたは何の姿も見なかったからである。

19:12 地震の後に火があつたが、火の中にも【主】はおられなかった。しかし火の後に、かすかな細い声があつた。

かすかな細い声=(へ)小さなささやき声

「◀ 6963. qol ▶音、声」 「◀ 1827. demamah ▶ささやき」 「◀ 1851. daq ▶  
小さな、薄い」

19:13 エリヤはこれを聞くと、すぐに外套で顔をおおい、外に出て洞穴の入り口に立った。すると声がして、こう言った。「エリヤよ、ここで何をしているのか。」

19:14 エリヤは答えた。「私は万軍の神、【主】に熱心に仕えました。しかし、イスラエルの子らはあなたとの契約を捨て、あなたの祭壇を壊し、あなたの預言者たちを剣で殺しました。ただ私だけが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうと狙っています。」

@ただ私だけが残りました

第1列王 19:18 しかし、わたしはイスラエルの中に七千人を残している。これらの者はみな、バアルに膝をかがめず、バアルに口づけしなかった者たちである。」

19:15 【主】は彼に言われた。「さあ、ダマスコの荒野へ帰って行け。そこに行き、ハザエルに油を注いで、アラムの王とせよ。

さあ・・・行き・・・せよ＝エリアの愚痴には答えず建設的な命令を出した

19:16 また、ニムシの子エフーに油を注いで、イスラエルの王とせよ。また、アベル・メホラ出身のシャファテの子エリシャに油を注いで、あなたに代わる預言者とせよ。

19:17 ハザエルの剣を逃れる者をエフーが殺し、エフーの剣を逃れる者をエリシャが殺す。

ハザエル、エフー、エリシャ」、この3人は裁きにかかわる

裁きは後にやって来る

キリストのミニストリーもその時にはなんの裁きも無かった

パウロ、めくらにした

ペテロ、アナニア&サツピラが死んだ

19:18 しかし、わたしはイスラエルの中に七千人を残している。これらの者はみな、バアルに膝をかがめず、バアルに口づけしなかった者たちである。」

膝をかがめ=カラ◀ 3766.( γῆ ) kara 36回▶ ひざまづく (現へ) ひざまづく

(NAS)(KJV) knees..bowed (INT) bowed (改 4)膝をかがめ

19:19 エリヤはそこを去って、シャファテの子エリシャを見つけた。エリシャは、十二くびきの牛を先に立て、その十二番目のくびきのそばで耕していた。エリヤが彼のところを通り過ぎるとき自分の外套を彼に掛けたので、

套を彼に掛けた=養子の意味、

第2列王 2:12 エリシャはこれを見て、「わが父、わが父、イスラエルの戦車と騎兵たち」と叫び続けたが、エリヤはもう見えなかった。彼は自分の衣をつかみ、それを二つに引き裂いた。

@十二くびきの牛を先に立て=裕福

19:20 エリシャは牛を放って、エリヤの後を追いかけて言った。「私の父と母に口づけさせてください。それから、あなたに従って行きますから。」エリヤは彼に言った。「行って来なさい。私があなたに何をしたか。」

19:21 エリシャは引き返して、くびきの牛を取り、それを殺して、牛の用具

でその肉を調理し、人々に与えてそれを食べさせた。それから彼は立ってエリヤについて行き、彼に仕えた。

牛の用具でその肉を調理し=@もう後には引き返せない。

@ビジネスマンを召す。

I 列王 20:11 イスラエルの王は答えた。「こう伝えてくれ。『武装しようとする者は、武装を解く者のように**誇って**はならない。』」

誇って=ハラル◀ 1984. halal (להל)165 回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

1 Kings 20:11 (NAS): boast (KJV): boast. (改 4)誇る ☆

武装しようとする者は、武装を解く者のように=

「◀ 2296. chagar ▶身につける、着る」者は「◀ 6605. pathach ▶開く、刻む」者のように、

「◀ 1984. halal▶賛美、誇る、気が狂う」してはならない。

I 列王 20:12 ベン・ハダドは、このことばを聞いたとき、王たちと仮小屋で酒を飲んでいたが、家来たちに「配置につけ」と命じたので、彼らはこの町に向かう配置についた。

仮小屋=◀ 5521. sukkah 31 回▶仮庵

幕屋(mishkan)という意味で用いられたことは一度もない

(Ge33:17)小屋、(レビ 23:34)仮庵(の祭り)、(レビ 23:42)仮庵、(レビ 23:42)仮庵、(レビ 23:43)仮庵、(申 16:13)仮庵(の祭り)、(申 16:16)仮庵(の祭り)、(申 31:10)仮庵(の祭り)、(2 サムエル 11:11)仮庵(神の箱が入っているテント・ただ

し、イスラエル、ユダの困窮と同列の表現なので、みずぼらしさを強調するための言葉)、(2サム 22:12)仮庵(闇が覆うという意味、(KJV)は pavilion)、(1列王 20:12)仮小屋、(1列王 20:16)仮小屋、(2歴 8:12)仮庵(の祭り)、(エズラ 3:4) 仮 庵 ( の 祭 り ) 、 ( ネ ヘ ミ ヤ 8:14,15,16,17,17) 仮 庵.(NAS)(KJV)(INT)booths、(ヨブ 27:18) 仮 小 屋 、 ( ヨ ブ 36:29) 幕 屋 ( 雷 雨 を 表 現)(NAS)pavilion(KJV)tabernacle(INT)booth、(ヨブ 38:40)茂み、(詩編 18:11)仮庵(雨雲 (KJV)は pavilion)、(詩編 31:20)隠れ場、(イザヤ 1:8)小屋(ぶどう畑)、(イザヤ 4:6)仮庵(NAS)shelter(KJV)tabernacle(INT)shelter、(アモス 9:11) 仮 庵(NAS)booth(KJV)tabernacle(INT) booth、(ヨナ 4 : 5)仮小屋、(ゼカリヤ 14:16) 仮 庵(の祭り)、(ゼカリヤ 14:18) 仮 庵(の祭り)、(ゼカリヤ 14:19) 仮 庵(の祭り)、

20:16 彼らは真昼ごろ出陣した。そのとき、ベン・ハダドは味方の三十二人の王と仮小屋で酒を飲んで酔っていた。

仮小屋 = ◀ 5521. sukkah 31 回 ▶ 仮庵

幕屋(mishkan)という意味で用いられたことは一度もない

(Ge33:17)小屋、(レビ 23:34)仮庵(の祭り)、(レビ 23:42)仮庵、(レビ 23:42)仮庵、(レビ 23:43)仮庵、(申 16:13)仮庵(の祭り)、(申 16:16)仮庵(の祭り)、(申 31:10)仮庵(の祭り)、(2サムエル 11:11)仮庵(神の箱が入っているテント・ただし、イスラエル、ユダの困窮と同列の表現なので、みずぼらしさを強調するための言葉)、(2サム 22:12)仮庵(闇が覆うという意味、(KJV)は pavilion)、(1列王 20:12)仮小屋、(1列王 20:16)仮小屋、(2歴 8:12)仮庵(の祭り)、(エズラ 3:4) 仮 庵 ( の 祭 り ) 、 ( ネ ヘ ミ ヤ 8:14,15,16,17,17) 仮 庵.(NAS)(KJV)(INT)booths、(ヨブ 27:18) 仮 小 屋 、 ( ヨ ブ 36:29) 幕 屋 ( 雷 雨 を 表

現)(NAS)pavilion(KJV)tabernacle(INT)booth、

(ヨブ 38:40)茂み、(詩編 18:11)仮庵(雨雲 (KJV)は pavilion)、(詩編 31:20)隠れ場、(イザヤ 1:8)小屋(ぶどう畑)、

(イザヤ 4:6)仮庵(NAS)shelter(KJV)tabernacle(INT)shelter、(アモス 9:11 仮庵(NAS)booth(KJV)tabernacle(INT) booth、(ヨナ 4 : 5)仮小屋、(ゼカリヤ 14:16) 仮庵(の祭り)、(ゼカリヤ 14:18) 仮庵(の祭り)、(ゼカリヤ 14:19) 仮庵(の祭り)、

20:24 このようにしてください。王たちをそれぞれ、その地位から退かせ、王たちの代わりに総督を任命し、

20:25 あなたは失っただけの軍勢と馬と戦車を補充してください。彼らと平地で戦うなら、きっと私たちのほうが彼らより強いでしょう。」王は彼らの言うことを聞き入れて、そのようにした。

@ 場所とリーダーを変えて同じ軍事力で戦って見よう

20:28 ときに、一人の神の人が近づいて来て、イスラエルの王に言った。「【主】はこう言われる。『アラム人が、【主】は山の神であって低地の神ではない、と言っているので、わたしはこの大いなる軍勢をすべてあなたの手に渡す。そうしてあなたがたは、わたしこそ【主】であることを知る。』」

@ この勝利はイスラエルの義によってではなく主の名誉を守るため、また民への哀れみによる勝利

(20 : 34) にもかかわらず主にそむいた (高慢)

(20 : 42) それゆえ裁かれた

ホセア 11:3 このわたしがエフライムに歩くことを教え、彼らを腕に抱いたのだ。しかし、わたしが彼らを癒やしたことを彼らは知らなかった。

イザヤ 26:10 悪しき者は、恵みを受けても義を学びません。公正の地にあっても不正を行い、【主】のご威光を見ようとしません。

20:42 彼は王に言った。「【主】はこう言われる。『わたしが聖絶しようとした者をあなたが逃がしたので、あなたのいのちは彼のいのちの代わりとなり、あなたの民は彼の民の代わりとなる。』」

、  
21 : 5 - 7 妻、イザベルのそそのかし

21:10 彼の前に二人のよこしまな者を座らせて、彼らに『おまえは神と王を呪った』と証言させなさい。そして、彼を外に引き出し、石打ちにして殺しなさい。」

21:13 そこに、二人のよこしまな者が入って来て、彼の前に座った。よこしまな者たちは民の前で、「ナボテは神と王を呪った」と証言した。そこで人々は彼を町の外に引き出し、石打ちにして殺した。

呪う=バラク◀ 1288. (𐤁𐤏𐤅)barak 330回▶ 祝福する 316回(英)の内 74回ほめる(改 4)。

(NAS)cursed (KJV)did blaspheme (INT) cursed (改 4)呪う

21 : 20 - 25 エリヤの裁きの言葉

21:29 「あなたは、アハブがわたしの前にへりくだっているのを見たか。彼がわたしの前にへりくだっているの、彼の生きている間はわざわいを下さない。しかし、彼の子の時代に、彼の家にわざわいを下す。」

@この言葉を聞いたときに、アハブはとりなすべきであった。

2列王 20:19 ヒゼキヤはイザヤに言った。「あなたが告げてくれた

【主】のことばはありがたい。」彼は、自分が生きている間は平和と安定があるのではないか、と思ったのである。

22:9 イスラエルの王は一人の**宦官**を呼び、「急いでイムラの子ミカヤを連れて来い」と命じた。

@宦官= ◀ 5631. saris (סריס)42 回▶ (サーリース) (サリィス)

(KJV) では officer と訳されているこの単語は新改訳で「廷臣」と訳されるであろう。

この単語を宦官と訳するかどうかは疑問である。

新改訳では第 1 列王記 22 章 9 節以前には「宦官」はないが、これ以後、すべての Saris は宦官(37 回)と訳される。

(NAS)では旧約聖書全体を見ても 42 回中 16 回、エステル記を除けば 4 回のみ

(KJV)はエステル記では chamberlains という単語を当てている。

KJV は預言書で多用しているので(NAS)より多いが、それでも歴史書の中で宦官と訳されたのは (2 王 9:32) (2 王 20:18) の 2 か所だけ。

(NAS)(INT)では歴史書の中では皆無

2 列王 9:32 彼は窓を見上げて、「だれか私にくみする者はいないか。だれかいないか」と言った。二、三人の宦官が彼を見下ろしていたので、  
2 列王 20:18 また、あなたが生む、あなた自身の息子たちの中には、捕らえられてバビロンの王の宮殿で宦官となる者がいる。」

預言書では「宦官」が出てくる。KJV では頻発だが(NAS)(INT)ではむしろ少数派

22:21 ひとりの霊が進み出て、【主】の前に立ち、『この私が彼を**感わします**』

と言うと、【主】は彼に『どのようにやるのか』とお尋ねになりました。

惑わします。= ◀ 6601. pathah ▶ 広くする。惑わす

22:22 彼は答えました。『私が出て行って、彼のすべての預言者の口で偽りを言う霊となります』

@主から出た惑わしの霊

22:31 アラムの王は、自分の配下の戦車隊長たち三十二人に次のように命じた。「兵とも将軍とも戦うな。ただイスラエルの王だけを狙って戦え。」

ただイスラエルの王だけを狙って戦え= リーダは攻撃の的となる

第2サムエル 17:2 私は、彼が疲れて気力を失っている間に、彼を襲い、彼を震え上がらせませす。彼と一緒にいるすべての民は逃げるでしょう。私は王だけを打ち殺します。

ゼカリヤ 13:7 剣よ、目覚めよ。わたしの羊飼いに向かい、わたしの仲間に向かえ——万軍の【主】のことば——。羊飼いを打て。すると、羊の群れは散らされて行き、わたしは、この手を小さい者たちに向ける。

マタイ 26:31 そのとき、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたはみな、今夜わたしにつまずきます。『わたしは羊飼いを打つ。すると、羊の群れは散らされる』と書いてあるからです。」

22:38 それから戦車をサマリアの池で洗った。犬が彼の血をなめ、遊女たちがそこで身を洗った。【主】が語られたことばのとおりであった。

第1列王記 21:19 彼にこう言え。『【主】はこう言われる。あなたは人殺しをしたうえに、奪い取ったのか。』また、彼に言え。『【主】はこう言われる。犬たちがナボテの血をなめた、その場所で、その犬たちがあなたの血をなめる。』』

22:40 アハブは先祖とともに眠りにつき、その子アハズヤが代わって王となった。

アハズヤ (イスラエル8)、《ロ》アハジャ

22:43 彼はその父アサのすべての道に歩み、そこから外れることなく、【主】の目にかなうことを行なった。しかし、高き所は取り除かなかった。民はなおも、その高き所でいけにえを献げたり、犠牲を供えたりしていた。

。

b y ヨシャパテ (ユダ4代目) 第1列王記 22 : 43

15:14 高き所は取り除かなかったが、アサの心は一生涯、主と全く一つになっていた

b y アサ (ユダ3代目)

2列 12:3 ただし、高き所は取り除かなかった。民はなおも、その高き所でいけにえをささげたり、香をたいたりしていた。b

y ヨアシユ (ユダ8代目)

22:44 ヨシャパテはイスラエルの王と友好関係を保っていた。

22:53 彼はバアルに仕え、それを**拝み**、彼の父が行ったのと全く同じように行って、イスラエルの神、【主】の怒りを引き起こした。

拝み=シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、  
礼をする

(NAS) (KJV) (INT)\* worship (改 4)拝み